

No Child left behind

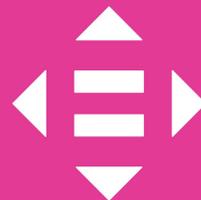
~落ちこぼれをつくらない~

長野県上田染谷丘高校1年 3組

柳澤 凜

この課題に関わる SDGsの番号

10 人や国の不平等 をなくそう



	ターゲット
10.1	2030年までに、各国の所得下位40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。
10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
10.3	差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。
10.4	税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する。
10.5	世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。
10.6	地球規模の国際経済・金融制度の意思決定における開発途上国の参加や発言力を拡大させることにより、より効果的で信用力があり、説明責任のある正当な制度を実現する。
10.7	計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。
10.a	世界貿易機関（WTO）協定に従い、開発途上国、特に後開発途上国に対する特別かつ異なる待遇の原則を実施する。
10.b	各国の国家計画やプログラムに従って、後開発途上国、アフリカ諸国、小島嶼開発途上国及び内陸開発途上国を始めとする、ニーズが最も大きい国々への、政府開発援助（ODA）及び海外直接投資を含む資金の流入を促進する。
10.c	2030年までに、移住労働者による送金コストを3%未満に引き下げ、コストが5%を超える送金経路を撤廃する。

テーマ設定の理由

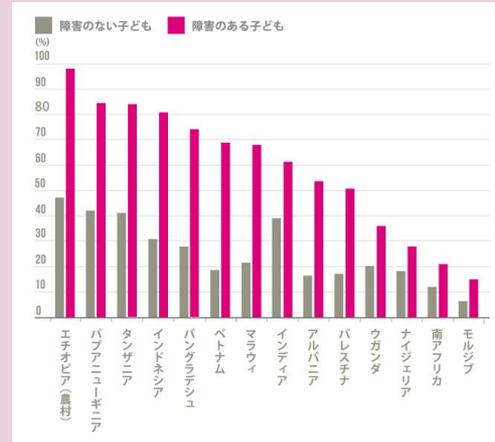
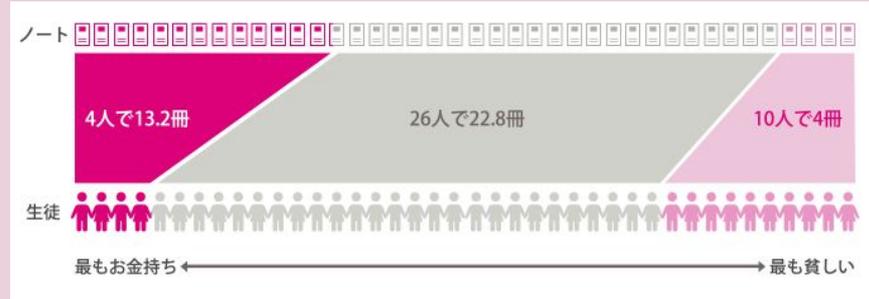
先日、テレビを見たときに東京のスーパーでお惣菜やお弁当が500円前後で売られているのを見た。都市の人は安い方とコメントしていた。私はこの値段で安い方なの？！と思った。

この差は平均賃金や所得の違いから生まれるのだろうと思った。

国内でさえも様々な差が生じているのに世界規模で見たらどうなるのだろうと気になったから。

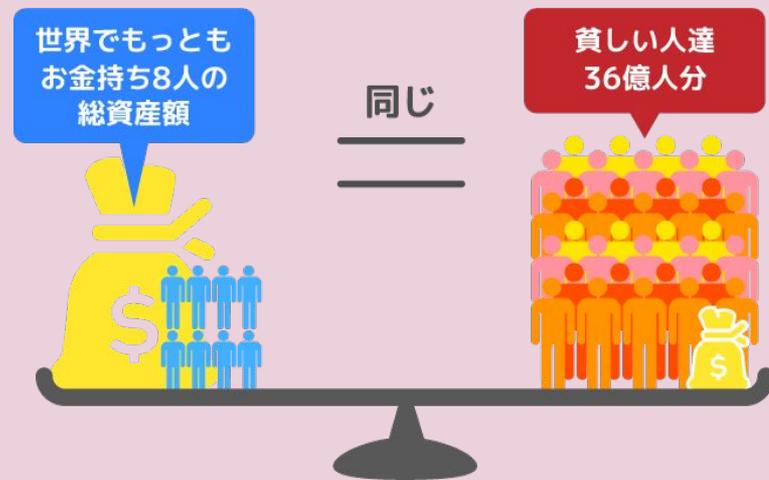
現状

世界の生徒40人の教室、資産を40冊のノートとすると以下のイラストのように配布されているのが今の富の所得の現状。



左のグラフの通り、学習の格差も生じている。

課題



圧倒的な所得の格差。

それに応じる一般的な生活の差。

学ぶチャンスの格差。

社会保障の届く人、届かない人。

解決策

移民の国・アメリカでは多くの学校で、「No **Child left behind**(**落ちこぼれをつくらない**)」という言葉
を掲げて、学力ごとのグループ分けをし、不利な状況に
ある子供の学力向上に力を入れているようだ。

また、私達にできる解決策もある。

- ・フェアトレードの商品を購入する
- ・寄付や募金



10代からの提言

「所得の格差」この差を埋めるためには、少なからず将来活躍するであろう今の若者の義務教育の修学は必須だと思う。**学力の格差**はすごく致命的だ。現在の世の中はIT技術の進歩が著しいため、その場にいなくても授業が受けられる**オンライン授業**を発展途上国で活用すれば需要と供給が保たれるのではと思う。



感想

10代からの提言で「オンライン授業を活用」と言ったがインターネットが普及していない発展途上国も少なくないと思う。その場合はまずインターネットの普及から始めなければならない。

どんな問題にも解決策はある、だがその解決策を実行することこそ、とても大変なことだと10代からの提言を考えることで学んだ。

学校や職場など様々なところでSDGsを呼びかけ、多くの人々の生活の中にSDGsが住み着いている世の中になるよう私達自身もできることには手を伸ばしていこうと思った。